

学習成果の効果的なアセスメント・可視化・発信とは

学習成果を軸とした質保証システムの確立

日程 平成22年8月2日(月)

13:00~17:40(受付 12時00分開始)

参加対象者 高等教育関係者

※具体的には、学長、理事又は副学長など大学運営の直接の関係者及び評価室やIR(Institutional Research)などの評価やFD活動等を直接担当する部署の責任者など

第三者評価は、高等教育機関が自らの質保証を行うだけでなく、質保証されていることを内外のステークホルダーに示すための重要なツールとして位置づけられてきました。つまり、高等教育機関が質保証を内外のステークホルダーの期待を考慮しながらいかに効果的にを行い、それをエビデンスとともに示せるかがカギとなるといえます。

高等教育機関は、従来の教員を中心とした「教育」を行う場から、学生を中心とした「学習」を行う場に社会の捉えられ方が変化してきています。このことから、社会の期待に応えるためにも高等教育機関は、今までの質保証システムのありかたを見直す時期にきています。「学習成果」を軸とした質保証システムを構築し、有効に機能させることが重要となってきているのです。

今回の大学評価フォーラムでは、学習成果を軸としたPDCAサイクルをいかに効果的に機能させ、質保証システムを確立していくかについてとりあげます。米国の高等教育機関で導入されている学習成果を軸としたシステムの枠組みだけでなく、学習成果のアセスメントや可視化の手法も具体的にみながら、日本に適したシステムとは何かについて議論をしていきます。フォーラムを通して、学習成果を軸とした新しい質保証システムの在り方について考えたいと思います。

会場 一橋記念講堂(学術総合センター2階)

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

【東京メトロ東西線「竹橋」11B出口 徒歩4分】

【東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8出口 徒歩3分】

プログラム(予定)

12:00~13:00	受付
13:00~13:10	【開会挨拶】 平野 真一(大学評価・学位授与機構長)
13:10~13:30	【講演I】 「これからの質保証システム」 川口 昭彦(大学評価・学位授与機構 特任教授)
13:30~14:40	【講演II】 「これからの質保証システムのありかた —学習成果を軸としたPDCAサイクルとは—」 Linda Suskie (Vice President at the Middle States Commission on Higher Education)
14:40~15:00	【質疑応答】
15:00~15:20	(休憩)
15:20~17:30	【パネルディスカッション】 「学習成果を軸とした質保証システムのありかた」 〈モデレーター〉川口 昭彦(大学評価・学位授与機構 特任教授) 〈パネリスト〉Linda Suskie (Vice President at the Middle States Commission on Higher Education) 新井 健一(株式会社 ベネッセコーポレーション Benesse教育研究開発センター長) 有信 睦弘(東京大学 監事) 濱口 哲(新潟大学 副学長)
17:30~17:40	【閉会挨拶】 岡本 和夫(大学評価・学位授与機構 理事)
18:00~19:00	【情報交換会】於:学術総合センター3階食堂ホール

ワーク
ショップ開催
8月3日

教職員を対象とした学習成果のアセスメント・可視化についてのワークショップを実施します。(詳細は当機構のホームページをご覧ください。)

参加費無料
日英同時通訳付